

## ちよだ生物多様性推進プランの検証について

### 1. 国や都などの取組みや国内外動向に関する情報の収集整理

国や東京都が区内を対象に行った生物多様性関連の取組みを表1に示します。宮内庁による吹上御苑での生物調査、皇居東御苑、吹上御苑、皇居外苑などでの自然観察会やウェブサイトでの情報発信、環境省による皇居外苑濠の水質対策や外来種対策、東京都による日比谷公園の再整備計画、日比谷公園での自然観察イベント、江戸のみどり登録緑地制度などが挙げられます。

また、2015年の推進プラン策定以降の生物多様性に関する主な国内外動向を表2に示します。SDGsにより、社会・経済活動の基盤としての生物多様性の重要性の認識が広く浸透しつつあるほか、地球規模での生物多様性の課題解決には、ビジネスやライフスタイルなどの場面にも落とし込んだ大きな社会変革が必要という認識に大きく移り変わってきています。

表1 国、東京都が区内を対象に行った生物多様性関連の取組み

管轄	場所	取組内容	実施者	分類
宮内庁	吹上御苑、生物学御研究所 周辺、道灌濠など	生物調査 1996年以降、最新2014（H26）年3月	国立科学博物館	生物調査
	皇居東御苑	植物ガイド案内（認定ガイドによる） （当面の間中止）	公益財団法人 菊葉文化協会	普及啓発
	皇居東御苑	自然・生き物情報の発信 皇居東御苑花だより、野鳥・昆虫	宮内庁	普及啓発
	皇居東御苑	北の丸公園と東御苑の草木探訪ガイド ツアー、自然探訪会	一般財団法人 国民公園協会	普及啓発
	吹上御苑	2007（H19）年より「みどりの月間」に 自然観察会が行われている	宮内庁	普及啓発
環境省	皇居外苑	ウェブサイトによる野生生物、植物の 概要の発信	一般財団法人 国民公園協会	普及啓発
	皇居外苑	バードウォッチング	一般財団法人 国民公園協会	普及啓発
	皇居外苑濠	皇居外苑濠水環境改善計画（H28 （2016）年3月）の策定	環境省	水質改善
	皇居外苑濠	皇居外苑濠水環境モニタリング	環境省	水質改善
	皇居外苑濠	移入種対策 特定外来生物駆除など	環境省	外来種対策
	千鳥ヶ淵	千鳥ヶ淵環境再生プラン（H25（2013） 年4月）の策定	環境省	水質改善
	北の丸公園	ウェブサイトによる野生生物、植物の 概要の発信	一般財団法人 国民公園協会	普及啓発
	北の丸公園	自然関連のガイドツアー	一般財団法人 国民公園協会	普及啓発
東京都 建設局	日比谷公園	自然観察イベント 定期的に行われている	公益財団法人 東京都公園協会	普及啓発
	日比谷公園	都立日比谷公園再整備計画（R3 （2021）年7月）の策定	東京都	公園整備

東京都環境局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯野ビルディング</li> <li>・日比谷パークフロント</li> <li>・三井住友海上駿河台ビル</li> <li>および駿河台新館</li> <li>・番町パークハウス</li> </ul>	江戸のみどり登録緑地制度	東京都	在来種緑化
--------	---	--------------	-----	-------

表2 推進プラン策定以降の主な国内外動向

西暦年	主な国内外動向	生物多様性との関係
2015	持続可能な開発目標（SDGs）	持続可能な社会・経済の実現にはその基盤となる健全かつ安定した環境（生物多様性）が重要
	パリ協定	気候変動とも密接に関係する生物多様性保全
	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）設立	
2019	IPBES 生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書	
2019～	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行	人も家畜を含む動物もそれを取りまく環境も健康であるためには、生物多様性が保全されている必要がある（ワンヘルスの考え） 身近な自然の価値の再認識
2020	地球規模生物多様性概況第5版（GB05）	関連する分野相互に連携して生物多様性を回復させる社会変革が必要
2020～	次期生物多様性国家戦略研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の健全性回復（“30by30”の保護区確保）</li> <li>・自然を活用した社会課題解決（Eco-DRRほか）</li> <li>・生物多様性と経済との好循環（連携と社会変革）</li> </ul>
2021	生物多様性及び生態系サービスの総合評価（JB03）	
	自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）設立	
2022	生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）にてポスト2020生物多様性枠組採択（見込み、5月）	生物多様性保全のための世界共通の新たな目標
	次期生物多様性国家戦略閣議決定（見込み、秋頃）	
	東京都生物多様性地域戦略改定（予定、冬～）	生物多様性と社会経済活動との関連重視
—	ESG投資の主流化	

上記のような国内外の動向を踏まえ、推進プランの見直しにおいては、以下に挙げる考え方を取り入れる必要があります。

#### 1) SDGs

推進プラン改定版の施策や取組みが、SDGs のどのゴールと関連しているのかを 17 の目標のアイコンを使用し、わかりやすくすることが望ましい。

区、区民、事業者それぞれに望まれる取組みについて、どんな行動がどんなゴールにつながるかを示すとわかりやすい。

#### 2) 気候変動への対策

気候変動緩和策としての緑地の保全・整備の考えや、気候変動適応策としてのグリーンインフラの活用など、区民、事業者などへの気候変動対策への行動を促す普及啓発等を施策に取り入れることが必要である。

#### 3) OECM

OECM 等による生態系ネットワークの構築が次期生物多様性国家戦略にも取り入れられる見込みである。区内民有地の OECM 認定の可能性も念頭に、区内の生態系ネットワークの状況や課題をより具体的に示していく必要がある。

#### 4) NbS

生態系を活用した防災・減災 (Eco-DRR)、グリーンインフラなどを含む自然を活用した解決策 (NbS) の積極的な活用が次期生物多様性国家戦略研究会報告書でも挙げられている。

そのような考えに基づく取組推進のため、区内で既に実施されている事例の紹介や今後の施策への反映を行う必要がある。

#### 5) 環境に配慮した投資

ビジネスと生物多様性との好循環を促すためには、ESG 投資の動向や、TCFD、TNFD が推奨する企業の情報開示に関する取組みを紹介するなど、生物多様性とビジネスとの関係を区内外に広く発信していく必要がある。

#### 6) ワン・ヘルス

人、動物、環境の健康は切り離すことができず、一体のものとして考える必要があり、この考え方は生物多様性を保全することにつながるため、考え方を紹介することが望ましい。新型コロナウイルス感染症との関連性を紹介するとわかりやすいと思われる。

## 2. 区民・事業者などの取組情報の収集整理

区民や事業者等が区内を対象に行った生物多様性関連の取組実績（緑地の創出・保全、認証取得等）の収集状況を表3に示します。これらの取組の実施場所を地図で表すことにより、取組みの充実が必要な場所、近隣の関係主体・小中学校等との連携や取組みの発展的活用の可能性などを検討していきます。

表3 収集した区民・事業者などの生物多様性関連の取組情報

取組みの主体等	取組みの内容等
SEGES 認定事業所 計7件 (認定機関：公益財団法人都市緑化機構)	民間事業者が所有・管理する緑地の社会・環境への貢献を評価・認定 ・駿河台の緑地と ECOM 駿河台 ・東京ガーデンテラス紀尾井町 ・大手町タワー 大手町の森 ・大手町ファーストスクエア ファーストスクエアガーデン ・TOKYO TORCH 常盤橋タワー ・大手町ホトリア ・東急キャピトルタワー
ABINC 認証取得事業所 計7件 (認定機関：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会)	各種事業所の土地利用における生物多様性保全の取組みを認証 ・大手門タワー・ENEOS ビル/大手町パークビルディング ・三井住友海上 駿河台ビル/駿河台新館 ・大手町フィナンシャルシティグランキューブ・宿泊施設棟 ・大手町タワー ・飯野ビルディング ・日比谷パークフロント ・TOKYO TORCH 常盤橋タワー
江戸のみどり登録緑地 (東京都環境局) 計4件	在来種を積極的に植栽し、生物多様性保全に取り組んでいる緑地を都が登録・公表 ・飯野ビルディング ・日比谷パークフロント ・三井住友海上駿河台ビルおよび駿河台新館 ・番町パークハウス
三井住友海上火災保険株式会社 駿河台ビル・ECOM 駿河台	区民・企業等への生物多様性に関する取組みの場所・機会提供、情報発信 ・屋上庭園の無料開放、ベンチ設置 ・屋上菜園の無料貸出（近隣住民、社員等） ・バードウォッチングほかイベント開催 ・企業緑地・生物多様性取り組み等の説明 ・環境・地域・社会貢献活動に関する展示 ・生物モニタリング結果の紹介 ・Facebook、メールでの情報発信 ・国・行政の取組みの情報発信、啓発
一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会	大丸有地区における生物多様性に関する取組み・活動 ・エコ結び（電子マネー利用額の1%が環境貢献活動基金になる） ・濠プロジェクト（皇居外苑濠元来の生きものの保全、復元） ・皇居外苑水質浄化（皇居外苑濠の水質改善に寄与する高速浄化施設導入） ・ハニープロジェクト（養蜂活動による自然と共生する環境都市・健康都市づくり） ・大丸有シゼンノコパン（大丸有地区における各種ネイチャープログラム開催）

### 3. 区内の動植物に関する調査情報の収集整理

推進プランで掲げる目標の達成状況の評価や課題を検証するとともに、区内の生きものの状況やその変化を記録・追跡し、今後の施策取組みの方向性を検討するための情報として、区内の生きものの確認記録情報を広く収集し、区の生物情報データベースとして整備します。

生物多様性情報の蓄積・共有に優れた国際標準の形式（ダーウィン・コア）でデータベース化することにより、動植物情報を行政、企業や研究者などの様々な主体・利用目的にもスムーズに共有・活用が可能なものとします。

現行推進プラン策定当時（2010年度）に収集し生物種リストとして整理した資料情報（次頁参考）に加え、その後に作成・発行されたものとして表4に示す資料を新たに収集し、生物情報データベースへの登録を進めます。

表4 新たに収集した区内の動植物関連資料一覧

収集先	資料の名称・種類等
環境省	・ガンカモ科鳥類生息調査（荒川水系）
環境省 （皇居外苑管理事務所）	・令和2年度皇居外苑濠等水生生物生息状況把握調査業務 ・令和2年度皇居外苑濠等ホタル個体数把握調査業務報告書 ・平成28年度皇居外苑北の丸公園ほ乳類生息調査業務 ・平成24年度桜田濠他夜間生物生息環境調査業務 ・平成28年度皇居外苑桜田濠等鳥類調査業務 ・平成27年度皇居外苑トンボ類実態把握調査及びホタル域外保全業務 ・平成22年度皇居外苑鳥類調査業務
国土交通省	・河川水辺の国勢調査
三井住友海上火災保険株式会社	・2018年度生物モニタリング調査 年次報告書 ・2019年度生物モニタリング調査 年次報告書 ・2020年度生物モニタリング調査 年次報告書
一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会	・丸の内周辺に棲む生きものたち Part1～6（2009/4/1～2021/3/31）
東京建物株式会社	・大手町の森生態調査報告書(2013-2014) ・大手町の森生態調査報告書(2015-2016)
法政大学人間環境学部 高田ゼミ	・千代田学活動成果報告書(平成28年度、平成29年度、平成30年度) 緑・水辺・生物による千代田区の魅力化プロジェクト

収集検討中	資料の名称・種類等
飯野海運株式会社	・「イイノの森」生物モニタリング調査
ちよだ生物多様性大賞 受賞実績	・「千代田区内における希少な自生植物の探索」（個人） ・「千代田区の皇居周辺緑地における甲虫相調査」（個人） ・「北の丸公園のトンボ調査」（個人）

〈参考〉 現行推進プラン策定当時（2010年度）に収集し生物種リストとして整理した区内の動植物に関する情報

文献資料	調査主体	文献名
1	区	文化財関係資料（国、東京都、千代田区の指定天然記念物）
2	国	河川水辺の国勢調査 平成8年度荒川水系(清洲橋・水道橋・聖橋)植物調査
3	国	河川水辺の国勢調査 平成11年度荒川水系(清洲橋・水道橋)陸上昆虫類等調査
4	国	河川水辺の国勢調査 平成12年度荒川水系(清洲橋・水道橋)両生類・爬虫類・哺乳類調査
5	国	平成21年度(第41回)ガンカモ科鳥類生息調査（環境省，2009）
6	国	平成20年度(第40回)ガンカモ科鳥類生息調査（環境省，2008）
7	国	平成19年度(第39回)ガンカモ科鳥類生息調査（環境省，2007）
8	国	平成18年度(第38回)ガンカモ科鳥類生息調査（環境省，2006）
9	国	平成17年度(第37回)ガンカモ科鳥類生息調査（環境省，2005）
10	国	国交省屋上庭園生物種リスト（国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地・景観課，2006）
11	法人	東京都産鳥類目録2000（日本野鳥の会東京 研究部，2009）
12	法人	都市排水の環境影響に関する研究(その2) ((財))東京都環境整備公社東京都環境科学研究所東京環境科学研究年報，2006)
13	市民団体	千代田のツバメ繁殖調査報告書（千代田の野鳥と自然の会，2001）
14	市民団体	千代田の野鳥（千代田の野鳥と自然の会，2008）
15	市民団体	東京都23区内のタヌキ、ハクビシン、アライグマの目撃情報の集計と分析 (東京タヌキ探検隊，2010)
16	市民団体	東京都の生き物（東京都生物教育研究会，2001）
17	市民団体	東京都の蝶類データ集2007～「グループ多摩虫」30周年記念～（グループ多摩虫，2007）
18	市民団体	東京都の蝶（西多摩昆虫同好会，1991）
19	出版社	千代田の自然－花・緑・町並み－（株式会社小学館，1991）
20	出版社	東京の自然（毎日新聞社，1993）
21	新聞社	高層ビルで羽休め…ハヤブサやオオタカ、都心で目撃（読売新聞記事，2006）
22	民間	事業所の土地利用を通じてエコロジカルネットワークを意識しはじめた企業の生物多様性保全の取り組み（日本緑化工学会誌第36巻第2号，2008）
23	民間	皇居東御苑 北の丸公園鳥類観察記録（自然環境情報広場 丸の内さえざり館，2006）
24	民間	皇居東御苑 北の丸公園鳥類観察記録（自然環境情報広場 丸の内さえざり館，2007）
25	民間	皇居東御苑 北の丸公園鳥類観察記録（自然環境情報広場 丸の内さえざり館，2008）
26	国(委託業務)	平成21年度北の丸公園自然資源等基礎調査業務報告書（環境省，平成22年3月）
27	国(委託業務)	北の丸公園樹木調査業務報告書(環境省，平成18年12月)
28	国(委託業務)	平成19年度皇居外苑濠生態系管理業務報告書（環境省，平成20年3月）
29	国(委託業務)	平成20年度皇居外苑濠魚類生息実態調査業務報告書（環境省，平成20年12月）
30	国(委託業務)	平成21年度皇居外苑濠特定外来生物駆除業務報告書（環境省，平成22年3月）
31	国(委託業務)	平成21年度皇居外苑濠動植物実態把握調査業務報告書（環境省，平成22年3月）

表の出典：「千代田区生物多様性に関する基礎調査報告書」平成23年3月 千代田区

※皇居吹上御苑については研究者による生物調査が行われており、確認種は国立科学博物館専報にまとめられているため、現行推進プラン策定当時（2010年度）の調査では資料収集・確認までとして、生物種リストには含めていない。

#### 4. 生物モニタリングに向けた候補地点の設定

##### (1) 生物モニタリング調査の目的

現行推進プラン策定当時（2010年度）に行った生物調査の結果と現在の状況とを比較し、区内の生物とその生息・生育環境の変化や特徴・課題を把握するとともに、区内の生物多様性の保全・向上に向けて必要な今後の施策の検討や、他主体の生物多様性に関する取組みにも資する情報を得ることを目的とします。

##### (2) 調査地点設定の考え方

- ①過年度との比較のための前回（平成23年度）調査実施地点の踏襲 →表5
- ②区内全体での調査地点配置のバランスを考慮 →表6
- ③民間取組みによる屋上緑化地等の生態的な効果の把握 →表6 追1
- ④区の公園・緑地の生態的な効果の現状把握 →表6 追2、追3

表5 調査対象地（平成23年度実施14か所）

No	名 称	調査項目と調査回数							
		植物 (3回)	植生 (1回)	哺乳 (2回)	鳥 (4回)	両爬 (2回)	魚類 (2回)	昆虫 (3回)	底生 (2回)
1	日比谷公園	●	千 代 田 区 全 域	●	●	●	●	●	●
2	国会前庭	●		●	●	●		●	
3	日枝神社	●		●	●	●		●	
4	清水谷公園	●		●	●	●	●	●	●
5	ホテルニューオータニの屋上 庭園、日本庭園及び斜面林	●		●	●	●		●	
6	外濠の緑道	●		●	●	●		●	
7	靖国神社	●		●	●	●		●	
8	錦華公園	●		●	●	●	●	●	●
9	神田児童公園	●		●	●	●		●	
10	神田川			●		●			●
11	日本橋川			●		●			●
12	東郷元帥記念公園	●		●	●	●		●	
13	外濠（新見附濠、牛込濠）	●		●	●	●	●	●	●
14	外濠（弁慶濠）	●		●	●	●	●	●	●

表6 調査対象地（追加候補地）

No	名 称	調査項目と調査回数							
		植物 (3回)	植生 (1回)	哺乳 (2回)	鳥 (4回)	両爬 (2回)	魚類 (2回)	昆虫 (3回)	底生 (2回)
追1	大手町 JA ビル 屋上・壁面緑化地	●	千 代 田 区 全 域	●	●	●		●	
追2	和泉公園（神田和泉町1丁目）	●		●	●	●		●	
追3	練成公園（外神田6丁目）	●		●	●	●		●	



大手町 JA ビル (屋上緑化)



大手町 JA ビル (屋上緑化)



大手町 JA ビル (屋上緑化)



大手町 JA ビル (壁面緑化)



和泉公園※



練成公園※

※写真出典：google マップ





図1 生物モニタリング調査 候補地点

(6) 区民向けアンケートによる区民の意識調査（設問内容の検討） 資料4-2 別紙参照

アンケートの目的

区民への生物多様性の普及啓発の現状や区内の身近な緑に対する意識などを把握することで、今後、千代田区が区民に対して働きかけるべき、意識・行動の変革に効果的な取組みの検討に有効な情報を得ることを目的とします。

アンケート結果から得たい確認項目

- 1) 生物多様性やその取組みに対する区民の意識変化
- 2) 「推進プラン」の下で区が率先して進めてきた取組みに対する区民の認識
- 3) 今後の効果的な取組みの検討に有効な情報となる区民の意向

アンケートの実施方法・実施時期

- ・区政モニターを活用して実施する方向で検討中
- ・対象：公募した満18歳以上の区内在住・在勤・在学者100人
- ・実施時期：令和4年6月（予定）